Hong Kong Representative Office

香港駐在員報告

少子高齢化の進む香港における介護関連製品市場

少子高齢化の進む香港

平均寿命の国際比較（2019年）では、香港は男女共に5年連続の世界一（男性：82・34歳、女性：88・13歳）となりました。また、日本を大きく下回る出生率（香港：1・051、日本：1・36）も影響し、2024年には超高齢社会（65歳以上の人口割合が全人口の21％以上）へ突入すると予測されています。

高齢者を取り巻く介護環境

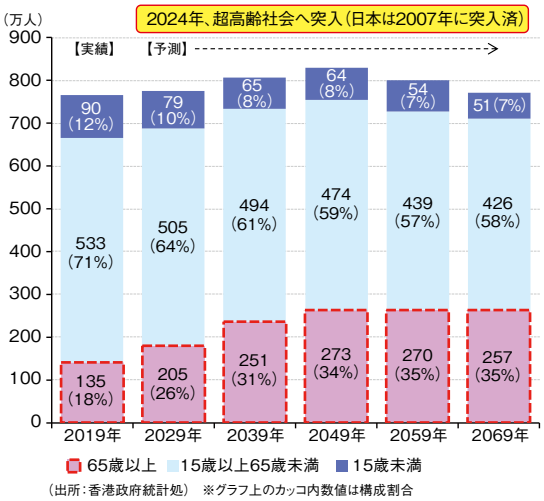
香港では、介護施設等に入居する高齢者はごく僅かであり、9割以上の高齢者は自宅で生活しています。また、核家族化の進行で高齢者のみ世帯も急増しています。共働き世帯が多い香港で一般的に利用されている外国人ハウスキーパーが、高齢者の在宅介護においても大きな役割を果たしている一方で、その専門性

■平均寿命の国際比較（2019年）

男性			女性		
順位	国・地域	平均寿命	順位	国・地域	平均寿命
1	香港	82.34歳	1	香港	88.13歳
2	スイス	81.70歳	2	日本	87.45歳
3	日本	81.41歳	3	スペイン	86.22歳
4	シンガポール	81.40歳	4	韓国	85.70歳
5	スウェーデン	81.34歳	4	シンガポール	85.70歳

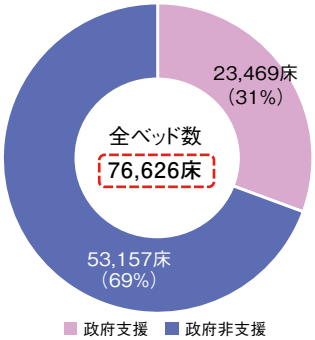
（出所：厚生労働省）

■年齢別人口構成の推移予測（2019年）



（出所：香港政府統計処）　※グラフ上のカッコ内数値は構成割合

■ 高齢者向け介護施設のベッド数（2020年9月）



【入居待ち人数】
38,219人

【入居待ち期間】
約20～40ヶ月

⇒65歳以上の人口が130万人超に対し、ベッド不足は深刻

（出所：香港政府統計処）　※グラフ上のカッコ内数値は構成割合

■高齢者のみ世帯の世帯数（2016年）

（単位：世帯）

	2006年	2016年
世帯内	世帯数	世帯数
1人	98,829	152,536
2人	67,078	107,135
3人以上	988	1,626
合 計	166,895	261,297

（出所：香港政府統計処/「2016 Population By-census」）

への懸念が高まっているのが実情です。

香港政府の対応施策

香港政府は、高齢者施策の原則を在宅介護とした上で、高齢者が自立した社会生活を営むために必要な支援やサービスを拡充し、介護環境の改善を図っています。例えば、2018年12月に10億香港ドルを拠出して設立された『高齢者・リハビリ技術革新応用基金（Innovation and Technology Fund for Application in Elderly and Rehabilitation Care）』では、介護施設・リハビリ施設等によるテクノロジー製品の購入やリースの資金援助をしています。高品質な日本製介護関連製品の販路拡大にも繋がる政府施策と言えます。

日本製介護関連製品の市場ニーズ

2020年11月、『第4回香港高齢者エキスポ（Gerontech and Innovation Expo cum Summit）2020』が開催されました。香港政府と香港社会福祉総会（HKCSS）、香港サイエンス・テクノロジーパーク（HKSTP）が共催する高齢者の生活自立支援テクノロジーに関するエキスポです。約160社が出展し、500点超の介護関連製品やサービスが展示されていましたが、同エキスポにおいて日本製品は大きな存在感を示していました。

また、香港には、介護関連製品の専門店舗が市中に存在し、多くの日本製品が取扱いされていることからも、その市場ニーズを窺うことができます。実際に専門店舗でヒアリングしましたが、「香港市民の日本製品に対する信頼感は特に大きく、価格よりも品質を重視する傾向が強い」とのことでした。

『第4回 香港高齢者エキスポ（GIES）2020』の開催風景

介護関連製品の専門ネット通販業者の出展ブース

介護食品エリアの日本製品ブース

市中の介護関連製品の専門店舗

おわりに

以上から、香港の介護関連製品市場は日本企業にとってビジネスチャンスと成り得る状況だと言えるのではないでしょうか。特に、高齢者の生活環境を向上させる製品（自立支援のための補助器具やIoT製品、介護食品等）については、ニーズが高い印象を受けます。

福岡銀行の海外駐在員事務所では、市場調査、現地進出、ビジネスマッチングのご相談を承っています。現地事情をお知りになりたい方は、是非お気軽に最寄りの支店までお問合せください。

（香港駐在員事務所　長 真太郎）

▲講演風景

<長崎創生プロジェクト認定>

長崎MICE スクール2年目開講!

長崎MICEスクール 1年目を終えて

長崎初の本格的コンベンション施設「出島メッセ長崎」が来年の11月に開業します。開業後を見据え、MICE(※)ビジネスをキーワードに、地元企業が「稼ぐ力」を身につけ、地域の活性化を促して「交流の産業化」を推進することを目的として、2019年11月にFFG主催(事務局FFGビジネスコンサルティング)、「出島メッセ長崎」の開発運営に携わる株式会社ながさきMICEのメンバーである株式会社コングレ協力のもと、長崎MICEスクールを開講しました。長崎市や地元経済界共催のもと、1年目は地元企業がMICEのビジネス構造を理解し、MICEと自社のビジネスをどう結びつけるかを考える場として、新型コロナウイルス感染拡大防止のためのオンラインも取り入れながら、ワークショップ形式の講座や先進事例視察会等を開催しました(表1)。

(※)MICE…企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称

(表1)長崎 MICE スクール1年目開催実績

回数	開催年月	テーマ
第1回	2019年11月	本スクール目的の共有・MICEビジネス構造の理解
第2回	2020年 1月	MICEによる地域活性化と長崎ブランドの整備
第3回	2020年 4月	MICE主催者及び参加者のニーズを把握し、事業者としての役割を知る (1)
第4回	2020年 6月	「Withコロナ時代のMICE ビジネスの中で、自社は何を商売にしていくのか」を考える
第5回	2020年 8月	MICE主催者及び参加者のニーズを把握し、事業者としての役割を知る (2)
第6回	2020年 9月	中間総括~MICEビジネスの中で、自社は何を商売にしていくのか~
第7回	2020年10月	ライバル都市に学ぶ~長崎に先んじて開業した熊本城ホールに学ぶ~

▲十八親和銀行 森頭取による開講挨拶

▲長崎大学 河野学長による講演の様子

▲コングレ 紫冨田専務による講演の様子

長崎MICEスクール 2年目開講にあたって

2020年11月13日(金)、ホテルニュー長崎にて長崎MICEスクールの2年目開講式が開催されました。十八親和銀行の森頭取は開講挨拶で、無事に2年目の開講を迎えられたことについて、長崎市をはじめ地元経済団体の皆様方に感謝の意を表すとともに、今後も「出島メッセ長崎」の成功に向けてグループを挙げて協力していくこと、またこの長崎MICEスクールが地元長崎の企業創出、ひいては地域経済の活性化に向けた大きな力となることへの期待感を示しました。

続いて、国立大学法人長崎大学学長の河野茂氏による講演と株式会社

コングレ専務取締役の紫冨田（しぶた）薫氏による講演が開催されました。

河野学長は「プラネタリーヘルス（地球の健康）とＭＩＣＥ」をテーマに、新型コロナウイルス感染症に代表される未知の感染症や食糧問題等、社会や地球が抱える課題に対して様々な立場から意識変容、行動変容を促すための長崎大学における取組みを紹介。また、ＭＩＣＥの活用促進にはリスクの監視と安全・活動のバランスが必要で長崎大学も支援していくとのお話をいただきました。

紫冨田専務は「ＭＩＣＥの現状と課題－出島メッセ長崎 開業1年前を迎えて－」をテーマに、この1年のＭＩＣＥの動き、Ｗｉｔｈコロナの課題や長崎としての必要なアクション等について具体的な事例を踏まえてご紹介いただきました。

孔子廟にてフィールドワークを開催

講演後は孔子廟（長崎市）に場所を移して、フィールドワークが開催されました。

このフィールドワークは、「出島メッセ長崎」の開業時を想定し、長崎ＭＩＣＥスクールの受講生がユニークベニュー（※）を活用してアフターコンベンションの企画・運営を行った実証実験です。食事・アトラクション・会場装飾など日本各地からの来場を想定し、「長崎らしさ」を演出。また、受講生は、コンベンションの参加者となることでユニークベニューの活用、ＭＩＣＥ関連イベントの体験、体感を図るとともに、今後運営側としてＭＩＣＥとのかかわり方を知る機会となりました。当日は受講生の他、長崎市の田上市長や長崎大学の河野学長にもご参加いただき、ゲストは総勢48名となりました。参加した受講生からは「長崎らしい非日常の体験ができた」「今回初めて座学がフィールドワークに反映され、スクールの成果が少し見えたのではないか」といった前向きな感想が聞かれました。ＦＦＧは長崎ＭＩＣＥスクール2年目も、さらにＭＩＣＥ推進を図るため、社会的な課題への取組みや中核人材の育成を実践し、長崎のＭＩＣＥ都市としての総合力を高めるよう全力で支援してまいります。

（※）ユニークベニュー…歴史的建造物、文化施設や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場

▲長崎大学 河野学長の挨拶により乾杯

▲空美風による二胡演奏

▲王文強氏、ひな氏による変面ショー

▲名物の皿うどん等長崎らしさにこだわった料理を提供

▲運営にあたった受講生

▲FFG今泉部長代理による主催者挨拶

▲長崎市 田上市長による来賓挨拶

▲シャンパンサーベルの様子

▲「孔子廟の世界観」と「長崎らしさ」をフラワーアレンジメントで表現

でも、お電話やホームページ
ください。
ご提案いたします。

長崎初の本格的コンベンション施設

出島メッセ長崎

DEJIMA MESSE NAGASAKI

2021年11月開業

1F 2F

20㎡～600㎡
最大24室
天井高約3～5m

会議室

大中小異なるタイプの会議室が最大24室（一部つなげての利用も可能）あります。会議の参加人数や用途によって、使い分けができます。研修会や各種会議、講演会等にもご利用いただけます。

会議室が充実！3つの特長

1.安心・安全な会議が可能

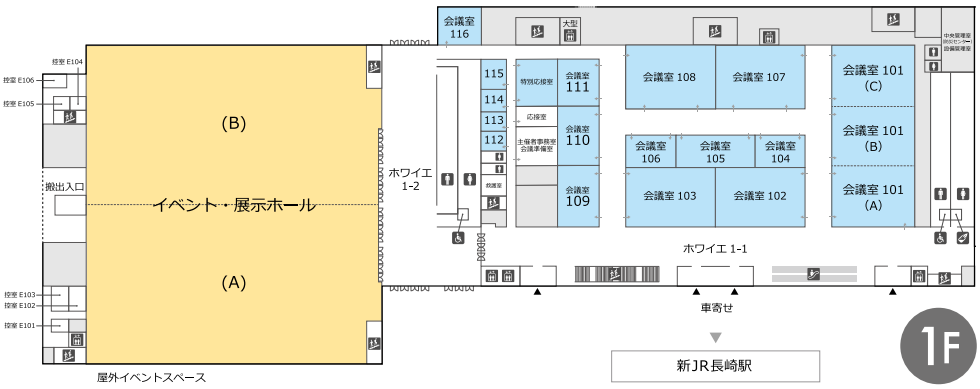
20㎡～600㎡、大中小さまざまな部屋をご用意。ソーシャルディスタンスを保ったうえでの会議開催が可能です。

2.充実した設備・備品

大容量の光ケーブルやWi-Fiを完備。また感染症対策用備品の貸し出しサービスもあります。会議に必要な備品一式を備えていますので、お気軽にご利用いただけます。

3.アクセス抜群

新JR長崎駅西口を出たら会議室は目の前。バスターミナルも近く、遠方の方も地元・九州の方も集まりやすい好立地で大変便利です。

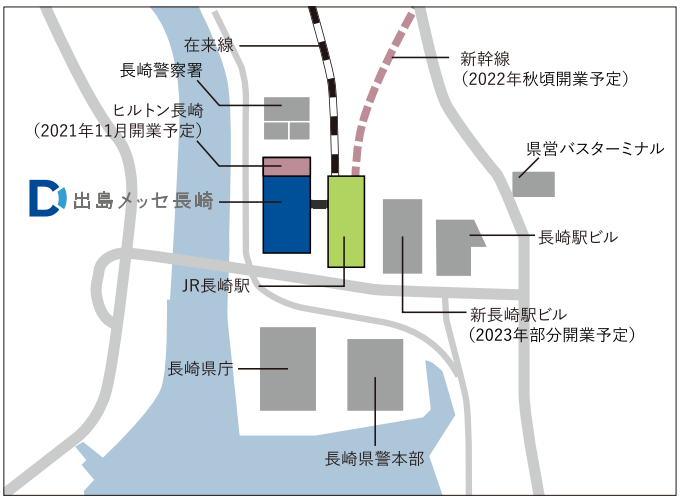


シンボルマークについて

海をイメージしたブルーをベースに、「出島メッセ長崎（Dejima Messe Nagasaki）」の頭文字「D」と出島の形状を重ね合わせました。
海の向こうに広がる世界と、長崎・日本をつなぐ、“新しいDEJIMA”を想起させるデザインです。

建設工事も順調に進行中です。

11月下旬 浦上川上空より撮影 [ドローン使用]



掲載のイメージ・内容は、今後の計画により変更になる場合があります。

〒850-0875 長崎県長崎市栄町5-5 2F TEL:0120-222686（電話受付時間：平日10:00～17:00）Email:info@dejima-messe.jp

予約受付中!!
https://dejima-messe.jp/

お気軽にお問い合わせください
TEL:0120-222686

随時ご予約受付中！詳細がお決まりでない場合のお問い合わせフォームより、お気軽にご相談ご計画中の会合やイベントに、最適なお部屋を

約2,700㎡
4分割可能
天井高約10m

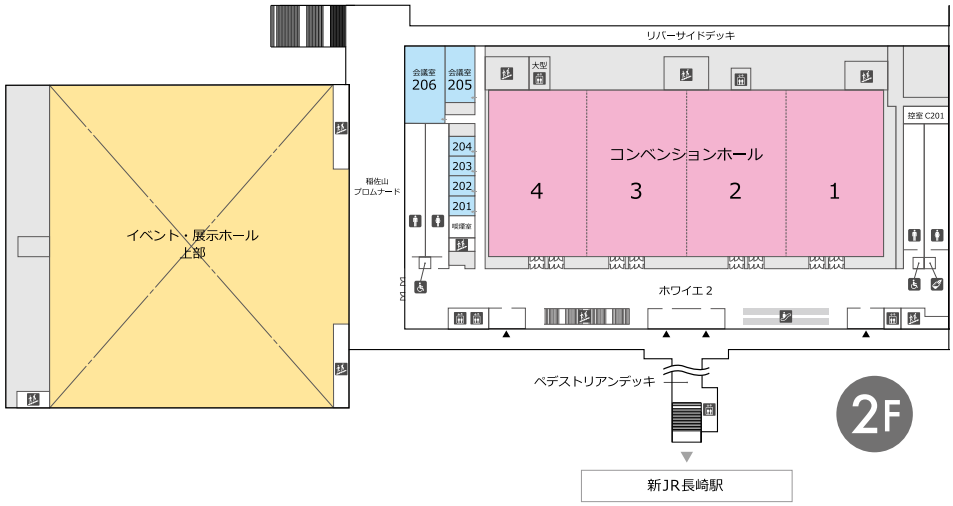
コンベンションホール

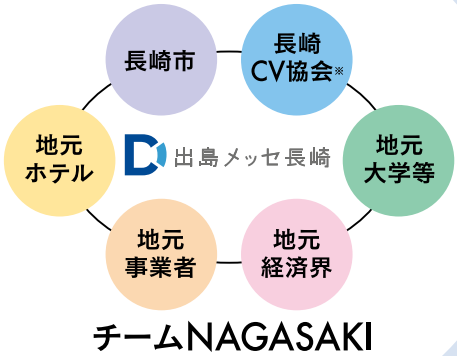
シアター形式、スクール形式、円卓等、多様な会場レイアウトをつくることができます。グレードの高い国際会議も開催できるコンベンションホールです。

約3,800㎡
2分割可能
天井高約12m

イベント・展示ホール

展示会のほか、コンサート、食やファミリー向けのイベント、ファッションショーなど、多種多様なイベントが天候に関係なく開催できます。





チームNAGASAKI

出島メッセ長崎は、“交流の産業化による長崎創生”をキーワードとする長崎市の魅力・ブランド力向上を目指します。

開業に向けて、チームNAGASAKI一丸となって準備を進めています。

●長崎市が取り組む、まち全体でMICEを受け入れる「まちMICEプロジェクト」。ユニークベニューの開発やまち全体のおもてなし機運醸成に向けて、産学官一体となり活動しています。

●地元大学との連携を図り、学生の活躍の場などを創出していきます。MICEを地場産業にすべく人材育成にも取り組んでまいります。

※長崎国際観光コンベンション協会